

なが せ ひがし しょう

長瀬 東 小 だ よ り

家庭数

No. 1 5

ねん がつ にち
2023年12月13日

こうちょう まつむら こ
校長 松村 りつ子

ねんせいしゅうがくりょこう ひろしま 6年生修学旅行（広島）

11月29日（水）から30日（木）の1泊2日で、6年生が広島に修学旅行に行きました。1日目は、原爆ドームのある広島平和記念公園を訪れ、全校児童の平和の願いを込めた千羽鶴を「原爆の子の像」に捧げました。78年前には、多くの人たちが生活を営んでいた町が、たった1発の原子爆弾で廃墟となりました。20万人以上もの人々がなくなったその跡地に、「広島平和記念公園」を位置づけ、亡くなった人々を忘れることがないよう、そして二度と戦争を繰り返すことがないよう、さまざまな慰霊碑がおかれています。

平和資料館を見学後、被爆体験伝承者の忍岡さんから当時の様子を聞かせていただき、ボランティアガイドさんと一緒に記念碑をめぐるしました。子どもたちは、真剣な表情でお話を聞き、それぞれが平和の尊さ、そして自分たちにできることについてしっかり考えた一日になりました。

2日目は、宮島にわたり、世界遺産の厳島神社、水族館、そして食べ歩きにお土産選びと、グループで協力しながら時間を守って行動できました。

混雑することを覚悟していましたが、思いのほかスムーズに買い物ができました。お天気にも恵まれ、寒くもなく穏やかな2日間でした。

出発までの準備やお見送り、お迎えなど保護者の皆様にはご協力いただきありがとうございました。



しゅうがくりょこう へいわがくしゅう お こ ふ かえ 修学旅行の平和学習を終えて 子どもたちの振り返り

★平和の灯火に火がついている間は、まだ、世界に原子爆弾があって、世界からなくなると火が消えるしくみになっていることを聞いてびっくりしました。あらためて、その国の判断で落とした一発の爆弾で何十万人の罪のない人た

ちがなくなってしまったから、戦争はあってはならないと思いました。

原子爆弾は、世界にたくさんあるから、早くなくなつて広島^{ひろしま}の灯火^{ともしび}が消えて平和^{へいわ}になつてほしいです。そのために、まずは身近な人や家族などを大切にしていこうと思ひました。

★被爆体験伝承者の方や、ボランティアガイドの方々のお話を聞き、この人たちは自分が平和のためにできることを見つけて行動に移しているんだなと感じました。戦争はだれも望まない悲しく残酷なものです。人間が人間を否定する、こんなことはまちがっていると強く感じました。

人は違いによって争う。その違いを受け入れることが平和の第一歩ではないかと私は考えました。

★まだ、世界には自分たちが望んでないのに人と人とが殺し合い、いろいろな人が犠牲になっているから、私は、今も戦争が起きている世界が許せないと思ひました。国の選択一つで人の命が犠牲になることを、今戦争をしている国に知つてほしいと思ひました。

へいわしゅうかい 平和集会



12月11日(月)に平和集会を行いました。各学年が「平和」について考えたこと、そして自分たちにできること、取り組んでいくことについて発表しました。また、6年生は修学旅行の広島で学んだことの報告をし、平和宣言をしました。どの学年も真剣に話を聞き、最後は命の重み、命の輝きを歌声に込めて「青い空は」を全員で歌いました。

